

平成22年1月15日

文部科学省「研究開発施設共用等促進費補助金」  
(先端研究施設共用促進事業)の採択について

平成21年度 文部科学省 研究開発施設共用等促進費補助金(先端研究施設共用促進事業)に、「生体反応および生命維持機構検出システム研究促進事業」が採択されました。

この補助金により、自然科学研究支援開発センターが管理するシステム装置を、特に産業界に対して共用に供することにより、生命科学分野におけるイノベーション創出、新産業の創出を目指しています。

今年度は、産業界の利用ニーズの掘り起こしを目的としたトライアルコースを実施します。

※ 本事業の概要については別紙に記載しています。

詳細な内容や応募要領等については、以下のURLをご覧ください。

URL : <http://nbard.hiroshima-u.ac.jp>

【お問い合わせ先】

学術室  
学術推進グループ 山根 義則  
TEL:082-424-5679、FAX:082-424-5890

# 別紙

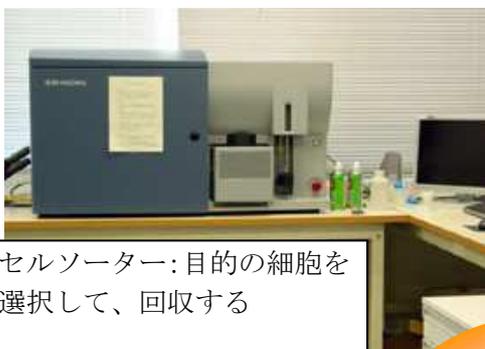
## 生体反応および生命維持機構検出システム研究促進事業

広島大学自然科学研究支援開発センター 研究代表者 檜山 英三

広島大学自然科学研究支援開発センターの有する先端的生命科学実験部の施設にある機器を、産学官の利用へ共用し、本大学の有する生命科学分析システムを用いた解析技術等を提供して、多くの産業界での成果を生み出すことにより、生命科学分野における基礎からイノベーション創出、新産業創出を目指す事業です。

- 提供設備は、遺伝子解析用のマイクロアレイ解析装置と淡白解析用の質量分析装置に加えて、細胞採取装置とセルソーターを組み合わせた生命科学分析システム
  - 刺激や薬剤などによる生体個々の反応の検討
  - 細胞分裂寿命を規定している因子の検討 などを行う。
- 特徴は、継時的に変化する個々の細胞や組織の反応や形の変化と関連した遺伝子の発現や細胞内代謝の変化が検討できる。
- 応用範囲が広い。たとえば、
  - ヒトの細胞の薬剤の効果や反応性、
  - 細胞の発生や分化段階の変化
  - 単細胞生物から、ヒト細胞まで

### 設備の概要



セルソーター: 目的の細胞を選択して、回収する



細胞採取装置: 目的の組織を切り出して、回収する

連動させて使

用するシステ

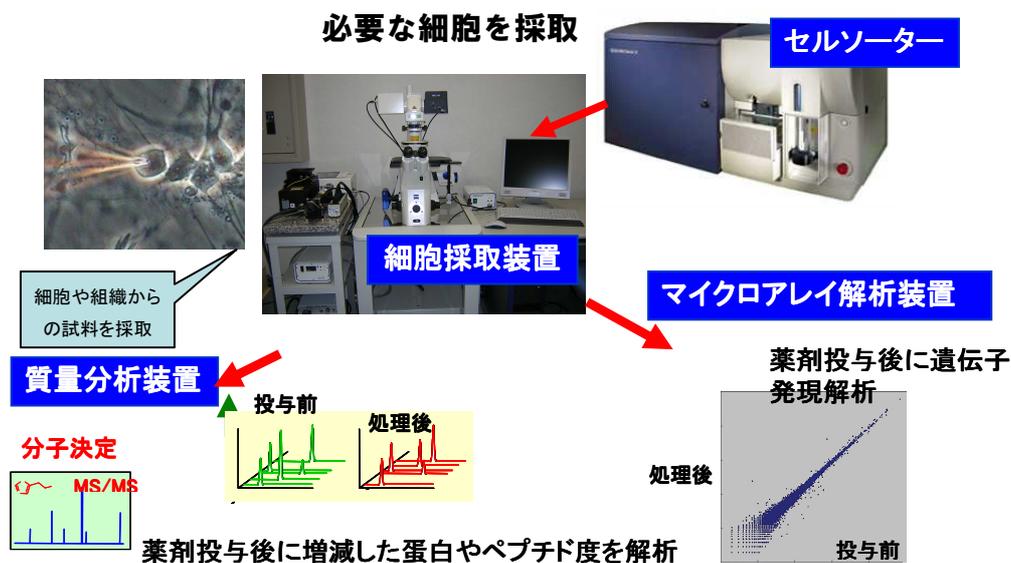


マイクロアレイ: 数多くの遺伝子を検索する



質量分析器: 数多くの蛋白やペプチドを検索する

たとえば（使用モデルの1例）



本システムの運用形態

### 1. 柔軟な制度設計について

本システムでは、産業界の利用ニーズの掘り起こしと有効利用を目的としてトライアルユース制度を導入する。なお、トライアルユースの期間は1単位を6ヶ月とし、2単位を上限とする。

### 2. トライアルユース制度導入の条件について

- ① トライアルユースでの成果は原則公開の研究とする。(成果の非公開を事前に申し出た場合は、期間を定めて非公開とすることができる。)
- ② トライアルユースで得られた成果は、関連して創出された発明等を含め、広島大学に報告することとしている。
- ③ トライアルユースを行った企業等について、発明等の知的財産が創出された場合はその持ち分について大学側と協議して定めることとし、知的財産収入の確保にも努める。(有償利用では、原則として、知的財産権は利用者に帰属)

### 3. 課題の選定について

本システムの利用は公募により行い、応募のあった提案内容については、課題選定委員会で審査の上決定する。また採択された提案についての研究成果は、同委員会で事後評価を行い、HP等で公表する。

### 4. 利用料金について

本システムの利用料金は、減価償却費（定額法による算定）、保守経費、人件費、光熱水料、消耗品代等本設備を利用するに当たっての必要経費に手数料を勘案して時間当たりの単価により決定する。トライアルユースは、原則として新規利用企業者を対象とする。

### 5. 本事業実施の意義について

- ・ 本システムを利用することにより、大学からの一方向の研究提案に加え、産業界にとって有益な研究開発や製品開発につながることを期待される。さらに、本事業を推進することで、本学の研究員、技術職員のスキルアップにもつながり、地域産業の活性化に基づく産学連携の強化、雇用の促進が得られ、本学にとっても重要性が高い。